

## アテネパラリンピック大会（水泳競技）報告書

水泳競技監督 猪飼 聡

(日本身体障害者水泳連盟)

### 1 選手の選考について

日本身体障害者水泳連盟（以下「連盟」という。）では、本大会への選手を選考するにあたり、連盟規定に基づき、連盟外部の学識経験者も含めたアテネパラリンピック推薦選手等選考委員会を連盟内に設置しました。同委員会において IPC より配分された選手枠と指定されたワイルドカード該当者の中からリレー種目を含め、メダル獲得または入賞が期待できる 24 名（男子 16 名、女子 8 名）の選手を候補者として選考し、JPC へ推薦しました。

### 2 成績一覧

競泳チームの獲得したメダルは、金 8、銀 6、銅 9 の合計 23 個でした。シドニー大会で獲得した総メダル数（金 9、銀 5、銅 1 の合計 15 個）を 8 個上回ることができるとともに選手 24 名のうち、15 名がメダリストとしてメダルを胸に帰国することが出来ました。残念ながらメダルには届かなかったものの決勝へ進み、入賞した選手も 6 名おり、全体に好成績を上げることができました。さらに記録面でも世界新記録を 6 種目、パラリンピック記録を 3 種目で樹立しました。（全成績、記録については別表を参照）

### 3 成績と評価

当初予想していた成績（金 8、銀 5、銅 5）および前回大会の成績を上回る結果を得ることができたので評価としては及第点。今大会参加選手中最多となる金メダル 7 個、銅メダル 1 個を獲得した成田選手、3 大会連続で S11 クラスの 50m 自由形を制した河合選手の活躍が目立ちますが、個人競技ではその他 6 選手（花田、秋山、中村、奈良、酒井、軽部）が計 9 個のメダルを獲得しました。前回大会では個人メダル獲得者は成田、河合、酒井の 3 選手だったことから全体の底上げが図れた結果と評価しています。

さらにリレー種目においても 8 種目にエントリーし、内 4 種目でメダルを獲得しました。中でも、今回初めて FCS20 ポイント男子メドレーリレーで銀メダルを獲得することができたことは大きなサプライズでした。最終日に実施されたこのレースでは、当初メンバーとして予定していた選手（平泳ぎメダリスト）が疲れから不調を訴えていたため、ヘッドコーチとの相談の結果、敢えて若い高校生の選手を抜擢し、挑みました。この選手は現地入り後、調子（タイム）を上げてきており、その可能性に賭けた結果、決勝レースでは全員がベスト記録を 0.5 秒ずつ縮め、感動のメダル獲得につながりました。リレー種目でのメダル獲得を見据えた選手選考が実を結んだものと嬉しく思っております。

前回大会でメダルを量産した視覚障害の区分ではウクライナ、ベラルーシといった新興国の台頭が目立ち、4 年間でレベルが飛躍的に向上していました。日本チームも 4 年前よりは記録を向上させて大会に臨んだのですが、世界のレベルは我々の予想以上のスピードで向上していました。

#### 4 チーム（コーチ）体制と各コーチの役割

本大会には選手 24 名に対して、監督以下総勢 10 名のスタッフ（男性 7 名、女性 3 名）で臨み、結果的に全体で 34 名という大所帯となりました。

競技では S12 クラス（視覚障害）の選手が同時に 3 名同じレースに出る可能性があったため、タッパーがスタートゴール側で 6 名必要になることを想定し、ヘッドコーチ以下 6 名がタッパーとして事前の合宿等で練習を積んで大会に臨みました。

また特筆すべきは、総務担当のコーチが一人いてくれたおかげで、事前合宿から大会期間中まで、それぞれのスタッフにかかる負担が軽減したことです。今後も同様の配置ができれば、こういった長期の取り組みには確実にプラスに作用することと思います。

各スタッフの役割については次のとおり。

- ◎監 督 猪飼 聡（全体の掌握と決定、メディア窓口）
- ◎ヘッドコーチ 滝元 良一（監督サポート、記録管理、練習計画立案、タッピング）
- ◎コ ー チ 小西 暢子（会議等での通訳、クラス分け担当）
- ◎コ ー チ 中西 工（総務全般、コーチング、介助、タッピング）
- ◎コ ー チ 藤川 幸司（練習計画立案、コーチング、介助、タッピング）
- ◎コ ー チ 柴田 安秀（コーチング、介助、タッピング）
- ◎コ ー チ 寺西 真人（コーチング、介助、タッピング）
- ◎コ ー チ 山崎 珠美（コーチング、介助、タッピング）
- ◎トレーナー 真井絵美子（メディカル面、介助、コンディショニング）
- ◎トレーナー 檀辻 雅広（メディカル面、介助、コンディショニング）

#### 5 競技運営などの報告

##### (1) 会場

選手村から会場への輸送はバスで 20～30 分（道路の混み具合で）、待たされることも少なく、ストレスは感じませんでした。水泳会場には、コンペティションプール（競技会場として使用：屋内）、アッププール（屋外）、メインプール（オリンピックで競技会場として使用：屋外）の 3 箇所（いずれのプールも 50m のプール）のプールがあり、それぞれは隣接しており、往来は楽にできました。開会前の練習では、この 3 箇所のプールがそれぞれ 90 分ずつ、午前 1 回午後 1 回割り当てられ、日本は 1 回の練習で 4 コースが配分されました。水温は屋内屋外ともに 26～27℃、ただし屋外プールでは日差しによって体感温度が全く違うため、不慣れな日本選手にとっては調整が難しかったかもしれません。

施設的にはエレベーター、スロープなどが整備されていましたが、車いす用のトイレなどが少なかったように思いました。ただ、マッサージ用のチェアなどは多く配備されており、わざわざチームの物を会場へ持参する必要などはなく、スペース的にも余裕のある施設であったため、全体として大変満足のものでした。

##### (2) 運営

ルール、選手の立場に立った運営がされており、特に問題はありませんでした。

無線周波数の使用許可、ビデオカメラの使用許可なども事前に承認してもらっていたため、トラブルなく会場で使用できました。（料金が少し高かったですが・・・）

## 6 大会参加までの準備状況

連盟では、シドニーパラリンピック終了後、翌年（2001年）からアテネに向けての選手強化に取り組みました。国際大会強化指定選手（年毎に約30名を指定する。）を対象に国内において合宿を行い、その中から国際大会へ派遣するなどして、選手に経験を積ませるとともにアテネでの選手権獲得に向け、一人でも多くの選手を国際ランキングの対象とさせる努力をしてきました。特に4年後を見据え、若手選手の発掘・育成に力を入れ、昨年開催されたユース大会へも8名の選手を派遣することができました。派遣された8名のうち、7名が今回のアテネに代表として参加しています。

また2003年にはスポーツ協会のご尽力でIPCより水泳部門のチェアパーソンであるアン・グリーン女史をはじめとする3名の委員をJP大会に合わせて開催したクラス分けセミナーに招き、指定選手全員のクラス分けを行うことができました。またこの大会における記録はIPC公認となり、国際ランキングにも記載され、日本の選手権獲得に大変有利に作用しました。4年間の活動の概況は次のとおり。

### 2001年度

#### ➤合宿（第1回）

期日：2001年7月20日～22日（3日間）

場所：大阪市舞洲障害者スポーツセンター、海上自衛隊阪神基地隊内プール

内容：①アテネパラリンピックに向けての練習計画などのヒアリング

②泳力の測定と乳酸値の測定

③シドニーパラリンピックでの反省点から得る課題の分析

④練習方法の具体例

⑤栄養補給と補助食品について

#### ➤合宿（第2回）

期日：2001年11月23日～25日（3日間）

場所：大阪市舞洲障害者スポーツセンター、大阪プール

内容：①トレーニング計画

②スポーツ選手の栄養学

③カーブテスト（血中乳酸濃度測定）

### 2002年度

#### ➤合宿（第3回）

期日：2002年8月15日～17日（3日間）

場所：なみはやドーム、アークホテル

内容：①国際大会競技規則

②国際大会参加にあたって

③クラス分けについて

④泳力の測定(T-20)と持久力トレーニングの方法について

⑤ビデオ撮影と練習方法及びフォーム相談、各ドリルの習得と説明

⑥各種トレーニングの習得と効果

⑦新候補選手クラス認定（5人にベンチテスト・ウォーターテストを実施）

⑧JP大会での国際大会シュミレーションの実施

➤合宿（第4回）

期日：2002年9月5日～7日（3日間）

場所：京都アクアリーナ、京都市洛西ふれあいの里保養センター

内容：①心理テストとヒアリング（心理的競技能力診断検査 DIPCA.3）

②IPC遠征について

③ドーピングについての注意

④エコノミー症候群についての知識、かぜ・気管支炎等の予防について

⑤各ドリルの習得とフォーミングのチェック

⑥簡単な英語とスペイン語

➤合宿（第5回） ※年度内に合宿に参加できなかった選手への補講合宿

期日：2003年1月24日～26日（3日間）

場所：神戸しあわせの村、こうべ市民福祉交流センター

内容：①心理テストとヒアリング（心理的競技能力診断検査 DIPCA.3）

②国際大会参加にあたって

③クラス分けについて

④泳力の測定(T・20)と持久力トレーニングの方法について

⑤ビデオ撮影と練習方法及びフォーム相談

⑥泳法分析および泳ぎ方の研究

⑦新候補選手クラス認定（2人がベンチテスト・ウォーターテストを実施）

➤国際大会派遣

◎釜山フェスティック大会：2002年10月、韓国（釜山）、選手13名参加（知的除く）

◎IPC世界選手権：2002年12月、アルゼンチン、選手16名参加

2003年度

➤合宿（第6回）

期日：2003年4月25日～27日（3日間）

場所：群馬県立ふれあいスポーツプラザ、群馬県立敷島公園プール、ちぎらホテル

内容：①強化指定選手制度

②アテネまでの日程

③世界の現状と各選手の目標作り

④競泳データとその活用方法

⑤アテネまでの練習計画の立て方

➤合宿（第7回）

期日：2003年12月26日～30日（5日間）

場所：広島市心身障害者福祉センター、ダイクレスイミングクラブ、クレイトンベイホテル

内容：①筋力トレーニング法

②ドーピングについて

③選手調書作成

④カーブテスト（血中乳酸濃度測定）

⑤三次元動作解析VTR撮影

➤合宿（第8回）

期日：2004年3月20日～22日（3日間）

場所：群馬県立ふれあいスポーツプラザ、群馬県立敷島公園プール、ちぎらホテル

内容：①パラリンピック代表選手選考記録会

②三次元動作解析のフィードバック

③スポーツ選手の栄養学

④自分でできる身体のケア

➤国際大会派遣

◎カナダオープン：2003年7月、カナダ（エドモントン）、選手11名参加

◎フェスピックユース大会：2003年12月、香港、選手8名参加

2004年度

➤合宿（第9回）

期日：2004年4月29日～5月5日（7日間）※後半4日間はアテネ代表選手を対象にした合宿

場所：大阪市舞洲障害者スポーツセンター、海上自衛隊阪神基地隊内プール

内容：①今後のスケジュールと目標・

②自分でできるコンディショニング

③さわやかなスポーツ選手であるために（インタビューなどでの自己表現法）

④アテネまでの練習の留意点（レース分析から）

⑤パラ選手にメディアが期待するもの

⑥イメージトレーニングの実際

⑦メンタルトレーニングと心理テスト

⑧メディア公開練習

➤合宿（第10回） ※アテネ代表選手24名を対象にした合宿

期日：2004年7月17日～19日（3日間）

場所：大阪市舞洲障害者スポーツセンター、海上自衛隊阪神基地隊内プール

内容：①ドーピングの知識（中村太郎師）

②オリンピック出場の経験から（糸井統師）

➤合宿（第11回） ※アテネ代表の視覚障害の選手6名を対象にした合宿

期日：2004年7月30日～8月1日（3日間）

場所：国立スポーツ科学センター（J I S S）

内容：①タッピング練習

②リレー練習

➤合宿（第12回） ※アテネ代表選手24名を対象にした合宿

期日：2004年8月15日～17日（3日間）

場所：なみはやドーム、アークホテル

内容：①JP大会でのシュミレーション

②パラリンピック出発前の最終調整

## 7 反省、まとめ

### －100人の自分に勝つ！－

これは、選手たちが合宿などを経て、自分たちで掲げた今大会へのスローガンでした。

オリンピックに選ばれた日本代表選手は、約10万人のスイマーの代表。パラリンピック代表に選ばれた自分たちは、その100分の1の約1,000人の障害のあるスイマーの代表。オリンピック選手に肩を並べようと思うのなら、あと100人の自分に勝たないといけない。そんな気持ちを持とうと、河合キャプテンをはじめとする選手全員は、このスローガンを約半年の間、代表チームの合宿などで繰り返し唱えてきました。

今回の代表チームは、中学1年生から40歳代の選手まで幅広い年齢層とさまざまな障害、半数の選手が初出場という中で、どこまでまとまりのあるチームが作れるか、当初は心配しましたが、終わってみると選手諸君は、個性ある集団として見事に結果を残してくれました。

### －競技レベルの向上－

前回シドニー大会の優勝タイム、3位のタイム、8位のタイムを選手選考の参考としていましたが、今回の大会では参考タイムをクリアしていても事前の予想順位に遥かに及ばないといったケースが多く、4年間で世界のレベルアップのスピードに驚かされました。特に女子の各種目と視覚障害男子の各種目でその傾向が顕著でした。4年後の北京大会には十分この傾向を勘案した強化策が必要と思われまます。

### －若手の育成－

秋山里奈選手、山田拓朗選手、山内美津希選手、鈴木孝幸選手といった中高生のスイマーは、選考時から半年で周囲の期待を大幅に上回るタイムの伸びを大会当日に見せてくれました。この「伸びしろ」の大きさこそが、遠征などではチームの起爆剤につながる大きなファクターといえます。世界、特に中国は4年後を見据え、若手を中心としたチーム編成でした。わが国においてもユース世代の育成は、選手強化の柱として捉え、引き続き積極的に発掘・育成していくシステムを作るなどの方策が必要と感じました。

### －クラス分け－

今回参加した24名の選手のうち、視覚障害の2名の選手がNステータスとしてクラス分けされました。わが国のFCS選手のクラス分けは全くなく、全体でもわずかの選手のみがクラス分けされていたようです。これは、IPCが世界各地でこの大会のために地道にクラス分けを実施してきた成果があらわれたものと思います。今後もパラリンピック本番でクラス分けをするようなシステムはますます減っていくのではないのでしょうか。言い換えれば、これからの4年間に各国で数多く行われる国際的な大会でのクラス分けがスタンダードとして認められれば、「パラリンピックにおけるクラス分け」というストレスがなくなることになり、大幅な負担軽減になるといえます。

### －お金の問題－

今後、水泳連盟では、北京に向けて選手強化を行う上で財政的な基盤を整備する必要があります。海外への遠征や合宿に必要な経費を概算し、選手やコーチが知恵を出し合って、対応策を講じないと、助成金や補助の増額が見込めない昨今の経済情勢の中、ますます負担が大きくなり、活動への影響が生じることは必至といえます。内外にパラリンピックの余韻の残る今、行動に移す必要を強く感じます。

### ーメディア対応ー

パラリンピックが国民に認知されるためには、メディアの力が大きく関係しています。その観点からも、水泳チームではできる限り、あらゆるメディアに対して取材等の協力を行ってきました。その結果、多くの新聞や雑誌、テレビなどでパラリンピック水泳チームについて取り上げていただき、社会全般に広く周知できたと思います。

アテネ出発前は話題性のある選手に取材申込が殺到し、少々混乱が生じましたが、選手個人の広報窓口を通す方法を取り、混乱は解消されました。現地入りしたあとは、混乱もなく整然と取材に対応することができました。これは、「ミックスゾーンでの対応方法」や「メディアが求めるもの」、「話し方の講座」をテーマに事前合宿で選手へ学習する機会を持ってきた成果と考えています。今回メディアによって取り上げられた選手は、帰国後は特にその言動や態度について責任と自覚を持って行動して欲しいと思います。

### ー選手団本部に対してー

今大会において、われわれ水泳チームが好成績をあげることができた背景には、多くの競技団体のために早朝から深夜までご尽力いただいた本部のスタッフの存在があげられます。無理を承知でお願いした何件かの事項について迅速に対応いただき、感謝しています。いつ本部を訪ねても笑顔を絶やさず対応いただき、元気をもらうことができました。

また、医務班の先生方には水泳チームの何名かの選手が日常적으로お世話になり、ご迷惑をお掛けしましたこととお詫びし、加えてご丁寧な対応についてお礼申し上げます。

### ーおわりにー

4年後の北京大会へ向けて、選手個人が何をしなければならないか…。

この大会を経験した選手は、経験から得られるヒントを元に練習を重ね、自分自身を高めていって欲しいと思います。また我々スタッフは、全国から新しい選手を発掘・育成し、北京へ向けての強化策を練る必要があります。やるべきことは山積しています。今回の成績以上のものを目指すには、今回のアテネに向けての取り組み以上の努力が必要であることをよく認識して、今からの4年間のレールを敷いていきたいと思います。

おわりに今回このような貴重な体験をさせていただいたことに対して、日本身体障害者水泳連盟をはじめ関係各位のみなさまに深く感謝申し上げます。

また、パラリンピック合宿でお世話になりました大阪市舞洲障害者スポーツセンター、海上自衛隊阪神基地隊、国立スポーツ科学センター、なみはやドームのみなさま、競技ユニホームや備品等でご支援賜りましたミズノ株式会社、ヤマハ発動機株式会社、山本光学株式会社、応援Tシャツの作成にご協力いただいた宮本圭さま、他多くの皆様に厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。

## 水 泳

NO	出場選手	種目	クラス	参加数	予選 決勝	順位 (位/人)	記録 / Rec.	優勝者			成 績
								記録 / Rec.	名 前	国名	
1	成田 真由美	50m自由形	S4	10	予選	1/10	44.90	39.22 /WR	成田 真由美	JPN	金メダル /WR
					決勝	1/8	39.22 /WR				
		100m自由形	S4	9	予選	1/9	1:32.70	1:25.07 /WR	成田 真由美	JPN	金メダル /WR
					決勝	1/8	1:25.07 /WR				
		200m自由形	S4	9	予選	1/9	3:20.50	3:02.00 /WR	成田 真由美	JPN	金メダル /WR
					決勝	1/8	3:02.00 /WR				
50m背泳ぎ	S4	9	予選	1/9	51.08	49.54 /PR	成田 真由美	JPN	金メダル /PR		
			決勝	1/8	49.54 /PR						
50m平泳ぎ	SB3	9	予選	1/9	57.24	56.20 /WR	成田 真由美	JPN	金メダル /WR		
			決勝	1/8	56.20 /WR						
150m個人メドレー	SM4	10	予選	1/10	2:51.67 /WR	2:45.20 /WR	成田 真由美	JPN	金メダル /WR		
			決勝	1/8	2:45.20 /WR						
2	河合 純一	50m自由形	S11	16	予選	1/16	27.22	26.64	河合 純一	JPN	金メダル
					決勝	1/8	26.64				
		100m自由形	S11	14	予選	4/14	1:05.16	1:00.79	SMYRNOV Viktor	UKR	銀メダル
					決勝	2/8	1:00.86				
		100m背泳ぎ	S11	10	予選	6/10	1:18.05	1:11.29	SMYRNOV Viktor	UKR	銅メダル
決勝	3/8				1:12.11						
100mバタフライ	S11	11	予選	1/11	1:08.51	1:06.34	SMYRNOV Viktor	UKR	銀メダル		
			決勝	2/8	1:06.76						
200m個人メドレー	SM11	8	決勝:予なし	4/8	2:36.77	2:28.47	SMYRNOV Viktor	UKR	4位		
3	花田 裕治	50m自由形	S4	12	予選	2/11	38.43 /PR	35.41 /WR	SILVA Clodoaldo	BRA	銀メダル
					決勝	2/8	37.54				
		100m自由形	S4	13	予選	2/13	1:22.77 /PR	1:19.51	SILVA Clodoaldo	BRA	銀メダル
決勝	2/8				1:24.62						
200m自由形	S4	15	予選	2/15	3:02.97	2:55.75 /WR	SILVA Clodoaldo	BRA	銅メダル		
			決勝	3/8	3:05.65						
4	酒井 喜和	100m自由形	S12	18	予選	7/18	58.90	54.49 /WR	MAKARAU Raman	BLR	7位
					決勝	7/8	59.05				
		400m自由形	S12	13	予選	7/13	4:46.16	4:11.58 /WR	PUNKO Sergei	BLR	7位
					決勝	7/8	4:44.48				
		100m背泳ぎ	S12	13	予選	4/13	1:06.55	1:02.75 /PR	MAKARAU Raman	BLR	銅メダル
決勝	3/8				1:04.99						
100mバタフライ	S12	12	予選	5/12	1:04.09	58.79 /PR	MAKARAU Raman	BLR	5位		
			決勝	5/8	1:04.05						
200m個人メドレー	SM12	12	予選	6/12	2:27.85	2:14.42 /WR	PUNKO Sergel	BLR	6位		
			決勝	6/8	2:27.93						
5	奈良 恵里加	50m自由形	S6	13	予選	1/13	37.66	36.14	GONZALEZ Doramitzi	MEX	銅メダル
					決勝	3/8	37.65				
		100m自由形	S6	16	予選	5/16	1:25.52	1:17.43 /WR	GONZALEZ Doramitzi	MEX	銅メダル
					決勝	3/8	1:22.87				
400m自由形	S6	10	予選	2/10	6:13.77	5:49.18 /WR	GONZALEZ Doramitzi	MEX	5位		
			決勝	5/8	6:14.65						
50mバタフライ	S6	15	予選	13/15:予落	53.34	40.25	LOISEAU Ludivine	FRA	13位		
6	梶原 紀子	100m平泳ぎ	SB4	11	予選	2/11	2:01.50	1:59.38	HESS Beatrice	FRA	4位
					決勝	4/8	2:01.15				
7	秋山 里奈	50m自由形	S11	13	予選	11/13:予落	36.77	32.35	SUGIMORI Fabiana	BRA	11位
					決勝	3/8	37.65				
		100m自由形	S11	11	予選	10/11:予落	1:23.84	1:12.10	GARCIA Anais	ESP	10位
					決勝	3/8	1:22.87				
		100m背泳ぎ	S11	9	予選	5/9	1:28.10	1:22.35 /WR	DONG Qiming	CHN	銀メダル
決勝	2/8				1:23.63						
100m平泳ぎ	SB11	10	予選	7/10	1:47.00	1:32.31	BARRETT Elaine	GBR	8位		
			決勝	8/8	1:46.99						
200m個人メドレー	SM11	7	決勝:予なし	6/7	3:26.92	3:04.24	SOKOLOVA Olga	RUS	6位		
8	杉内 周作	50m自由形	S13	14	予選	11/14:予落	27.44	24.88	STROKIN Andrey	RUS	11位
					決勝	4/8	1:14.48				
		100m自由形	S13	14	予選	10/14:予落	1:00.85	55.27 /PR	STROKIN Andrey	RUS	10位
					決勝	4/8	1:14.48				
100mバタフライ	S13	12	予選	8/12	1:08.61	1:01.50	TAIGANIDIS Charalampos	GRE	8位		
			決勝	8/8	1:07.97						
100m平泳ぎ	SB13	11	予選	4/11	1:16.23	1:12.09	CLAUSNER Daniel	GER	4位		
			決勝	4/8	1:14.48						



## 水 泳

NO	出場選手	種目	クラス	参加数	予選 決勝	順位 (位/人)	記録 / Rec.	優勝者			成 績
								記録 / Rec.	名 前	国名	
9	恵川 光生	50m自由形	S12	12	予 選	9/12:予落	26.83	24.80 /WR	ALEKSYEYEV Dmytro	UKR	9位
		100m自由形	S12	18	予 選	11/18:予落	59.47	54.49 /WR	MAKARAU Raman	BLR	11位
		400m自由形	S12	13	予 選	9/13:予落	4:58.86	4:11.58 /WR	PUNKO Sergei	BLR	9位
		100mバタフライ	S12	12	予 選 決 勝	6/12 6/8	1:05.04 1:04.90	58.79 /PR	MAKARAU Raman	BLR	6位
10	中村 智太郎	100m平泳ぎ	SB7	10	予 選 決 勝	2/10 3/8	1:25.02 1:25.72	1:23.28 /PR	KINDRED Sascha	GBR	銅メダル
11	藤田 多佳子	50m自由形	S5	9	予 選	9/9:予落	53.27	37.26	AKOPYAN Olena	UKR	9位
		100m自由形	S5	11	予 選	11/11:予落	1:50.82	1:19.96	PERALES Teresa	ESP	11位
		200m自由形	S5	9	予 選	9/9:予落	3:57.69	2:49.99	HESS Beatrice	FRA	9位
		50m平泳ぎ	SB3	9	予 選	9/9:予落	1:17.03	56.20 /WR	成田 真由美	JPN	9位
12	安田 美由紀	50m自由形	S7	16	予 選	11/16:予落	38.34	34.34 /WR	POPOVICH Erin	USA	11位
		100m自由形	S7	16	予 選	13/16:予落	1:26.13	1:14.61 /PR	POPOVICH Erin	USA	13位
		400m自由形	S7	14	予 選 決 勝	8/14 8/8	6:13.36 6:18.23	5:20.26 /PR	WOLFENDEN Chantel	AUS	8位
13	軽部 弘	50m平泳ぎ	SB3	11	予 選 決 勝	3/11 3/8	54.78 55.18	51.27	LUQUE Miguel	ESP	銅メダル
		150m個人バタフライ	SM4	14	予 選	13/14:予落	3:14.88	2:39.15	SILVA Clodoaldo	BRA	13位
14	前田 大介	50m自由形	S6	15	予 選	14/15:予落	35.14	30.80 /WR	YIN Jianhua	CHN	14位
		100m自由形	S6	14	予 選	12/14:予落	1:16.14	1:07.60 /WR	YIN Jianhua	CHN	12位
		50mバタフライ	S6	13	予 選	11/13:予落	38.31	32.82	LI Peng	CHN	11位
15	鈴木 孝幸	100m自由形	S5	11	予 選 決 勝	7/11 7/8	1:29.21 1:29.99	1:13.39 /WR	RODRIGUEZ Sebastian	ESP	7位
		150m個人バタフライ	SM4	14	予 選 決 勝	7/14 8/8	2:57.71 2:58.61	2:39.15	SILVA Clodoaldo	BRA	8位
16	江島 大佑	50mバタフライ	S7	15	予 選 決 勝	8/15 7/8	36.61 35.91	31.32 /WR	TIAN Rong	CHN	7位
		100m背泳ぎ	S7	10	予 選 決 勝	3/10 5/8	1:19.19 1:19.99	1:16.67	LINDSAY Andrew	GBR	5位
		200m個人バタフライ	SM7	14	予 選	なし:予落	DSQ	2:43.65	GARCIA Rudy	USA	失格
17	北村 友里	100m平泳ぎ	SB5	8	決勝:予なし	6/8	2:07.64	1:52.81 /PR	BRUHN Kirsten	GER	6位
18	荒 力	100m平泳ぎ	SB8	9	予 選 決 勝	6/9 5/8	1:20.80 1:20.34	1:10.40 /WR	KALYNA Andriy	UKR	5位
		100mバタフライ	S8	13	予 選	11/13:予落	1:19.96	1:05.20 /WR	WANG Xiao Fu	CHN	11位
19	山田 拓朗	50m自由形	S9	21	予 選	10/21:予落	28.03	26.37	XIONG Xiao Ming	CHN	10位
		400m自由形	S9	15	予 選	9/15:予落	4:40.18	4:25.42 /PR	PROUT JR Michael	USA	9位
20	杉田 好士郎	100mバタフライ	S12	12	予 選	12/12:予落	1:20.73	58.79 /PR	MAKARAU Raman	BLR	12位
		100m平泳ぎ	SB12	17	予 選	13/17:予落	1:20.14	1:10.99	ALEKSYEYEV Dmytro	UKR	13位
		200m個人バタフライ	SM12	12	予 選	12/12:予落	2:44.97	2:14.42 /WR	PUNKO Sergei	BLR	12位
21	細川 宏史	50m自由形	S7	15	予 選	15/15:予落	33.10	28.77	ROBERTS David	GBR	15位
		400m自由形	S7	11	予 選	9/11:予落	5:29.21	4:56.11	ROBERTS David	GBR	9位
		100m背泳ぎ	S7	10	予 選 決 勝	7/10 7/8	1:22.76 1:22.94	1:16.67	LINDSAY Andrew	GBR	7位
22	嶋本 龍司	400m自由形	S9	15	予 選	13/15:予落	4:59.14	4:25.42 /PR	PROUT JR Michael	USA	13位
		100m背泳ぎ	S9	18	予 選	17/18:予落	1:13.96	1:05.35	PERRY Jarrett	USA	17位
23	山内 美津希	100m平泳ぎ	SB9	12	予 選 決 勝	5/12 5/8	1:28.68 1:28.70	1:24.17	COUFALOVA Katerina	CZE	5位
24	木村 潤平	100m平泳ぎ	SB6	8	決勝:予なし	6/8	1:41.96	1:29.93 /PR	DUKE Gareth	GBR	6位
	日 本 軽部/花田/鈴木/前田	4x50m自由形 リレー (男子)	20pts	11	予 選 決 勝	2/10 4/8	2:37.96 2:39.78	2:27.04	CHN		4位
	日 本 奈良/梶原/藤田/成田	4x50m自由形 リレー (女子)	20pts	7	決勝:予なし	1/7	3:00.62 /WR	3:00.62 /WR	日 本		金メダル /WR
	日 本 木村/嶋本/荒/山田	4x100m自由形 リレー (男子)	34pts	12	予 選	10/12:予落	4:33.01	3:59.62 /WR	GBR		10位
	日 本 河合/杉内/恵川/酒井	4x100m自由形 リレー (男子)	49pts	5	決勝:予なし	3/5	3:57.73	3:45.97 /WR	UKR		銅メダル
	日 本 江島/鈴木/前田/花田	4x50mメドレー リレー (男子)	20pts	11	予 選 決 勝	1/10 2/8	2:44.30 2:42.52	2:37.46 /PR	BRA		銀メダル
	日 本 成田/梶原/奈良/藤田	4x50mメドレー リレー (女子)	20pts	7	決勝:予なし	3/7	3:33.11	3:16.34	GBR		銅メダル

## 水 泳

NO	出場選手	種目	クラス	参加数	予選 決勝	順位 (位/人)	記録 / Rec.	優勝者			成績
								記録 / Rec.	名前	国名	
	日 本 崎本/荒/山田/細川	4×100m×ドレー リレー (男子)	34pts	13	予 選	9/11:予落	4:54.41	3:59.62 /WR	GBR	9位	
	日 本 酒井/杉内/豊川/河合	4×100m×ドレー リレー (男子)	49pts	5	決勝:予なし	4/5	4:23.66	4:13.65 /WR	UKR	4位	